



愛  
玩  
主



あら、叔父様。 今日は何の御用ですか？ 私は毎日書類整理で忙しいのです。

残された遺産が凍結中だというのに毎月毎月莫大な利益を生んでいまして、使うことができないというのに、帳簿の整理が大変でしてね。正直なところ、めんどくさいんですよ。叔父様にさっさと引渡してしまいたいんです。

皮肉か何かか？ まあ、かまわんさ。お前ごときが持つていても意味を成さないものだ。そもそも、あれは兄の資産、弟の俺が頂くのが筋だろう。

その実子である私にも相続権はあるのですが。

庶民の娘との子供のお前に、我が一族の資産を受け継ぐ権利などあるわけないだろうが。

その庶民の娘の子供を一人養子にしてますよね？ ……それとコレとは話が別だ…

さて、もう気が済みましたか？ 私は忙しいので、そろそろ失礼したいのですが。

そうだな…俺もお前のようなクソガキにさく時間など無い。

…だがな、お前はもう少し自分の立場をわきまえてもらおう

…

この間お邪魔したとき、お前の態度があまりに気に食わなかったものでな。

家に帰るとお前に似たモノがあったのでついつい当たってしまったよ。いやはや、われながら大人気ない事だった。

っ…

もう何度も言っている事ではあるが、改めて言わせてもらおうぞ？ お前の妹は、今俺の娘だ。

お前がどうあがいたところで、私の方が社会的立場というものがある。

親を亡くしたお前がどれだけ騒いだところで、立派な大人の私の方が多くの権利を持っている。

警察や裁判所に駆け込むのもいいが、その間にお前の大切な妹は不運な事故死することになっている。

お前は、妹の死を受け止められず、

あらぬ罪を叔父になすりつける可哀想な姉ということに認識されるだろう。

今でも周りには、両親を亡くした可哀想な令嬢と、  
その姪を気遣って、忙しい中足しげく通う優しい叔父という設定で認識されている。

つまり…

つまり、私は、叔父様に逆らう事などできないということですね。

分かっているならよし。

しかし、面白いものだ。「妹のために」とはな。血のつながった姉妹とはいえ、家の資産をそのひきかえにしようとは……。これだけの額があれば、妹なんて③③ トン単位で買えるだろうに。

叔父様の様な人の皮をかぶった醜い豚ごときには分からないかもしれませんが、お金などより、妹の方が私にとっては大切なのですよ。  
叔父様にはそれが分からないから、父上は叔父様へ遺産を残さなかつたのです。

……確かに、お前は兄に似ている。

姿形はあのみすぼらしい女にそっくりだが、やはり兄の子供というわけか。

憎たらしい。顔も、その心も。  
さて……ともかく、今お前は俺の心を逆撫でした。わかっているな？

あら、叔父様に心なんてものがあつたのですね。ならば、世界中の家畜に人権を認めなければいけません。

……まあ、いい。  
お前はどうせ口で吠える事しかできんだからな。  
ほら、さっさと膝まづいて許しを乞え。言葉ではなく態度でな。お前の「大切な」妹のために。

わかってているな？ 噛んでくれるなよ？

もつとも、俺のモノは立派だからな。お前の口には入らないが。

んぐ… どうせ手術でもしたのでしょう。度量の小さな男ほど見た目形にこだわると言いますしね

なんとでも言え。どのみちお前は私に蹂躞されるしかない。

私の怒りはそのままお前と、お前の妹に返すだけだ。

…変態がっ

まったく無愛想だな…もうすこし嬉しそうな顔を…  
いや、このままの方が良いな。  
その表情ままでいる。ぞくぞくする。

ぶくく…いいねえ…もつと言ってみろ。

お前はその変態の魔羅を唇に押し付けられても逆らうことはできない。

ほら、お前があんまりいい顔をするから、もう出るぞ？ 今日もたっぷり出すぞ？ 俺の汁で唇を潤してやる。

っ…

わかってているな？ 噛んでくれるなよ？

もつとも、俺のモノは立派だからな。お前の口には入らないが。

んぐ… どうせ手術でもしたのでしょう。度量の小さな男ほど見た目形にこだわると言いますしね

なんとでも言え。どのみちお前は私に蹂躞されるしかない。

私の怒りはそのままお前と、お前の妹に返すだけだ。

…変態がっ

まったく無愛想だな…もうすこし嬉しそうな顔を…  
いや、このままの方が良いな。  
その表情ままでいる。ぞくぞくする。

ぶくく…いいねえ…もつと言ってみろ。

お前はその変態の魔羅を唇に押し付けられても逆らうことはできない。

ほら、お前があんまりいい顔をするから、もう出るぞ？ 今日もたっぷり出すぞ？ 俺の汁で唇を潤してやる。

っ…

うっ…くっ…ぐあ…

まだまだキツイな…まあ、週に一度程度ではこんなものか。

ほら、もっと足をあげろ！俺の魔羅がお前の腹を犯しているのをよく見せろ。お前の妹の方でやってもいいんだぞ？

きっ…さま…うあっ…

いい顔をする…。

お前の妹も犯せばそんな顔をするのかね？

妹は…だめ…うっ…

なあ…に、お前が俺のモノを受け入れている間はお前で我慢してやるよ。

どうだ？

もうキツイばかりではないだろう？

少しは気持ちいいんじゃないのか？

ぐっ…

あ…

気持ち悪くて…腹を下しそうだわ…

ぶへへ…頭がイイ子は好きだぞ。

さて…

そろそろ出してやろうか。

よろこべ。お前の様な下賤の娘に、毎度毎度我が一族の種を注いでやっているんだからな

子種などと。面白い事を…

いい返事だ…確かに、俺は種無しだ。だが、そのお陰で、一族の財産を頂く権利を得たと思っている。

種なしの汁だとしても、お前が要らないというなら、お前の妹にくれてやってもいい。

それこそ、毎夜毎晩でもな。

…

どうだ？

欲しくなってきたらろ？

…はやくっ…出せばいい…

私の腹に…残らず出せば…いい…

良い答えだ。

うっ…くっ…ぐあ…

まだまだキツイな…まあ、週に一度程度ではこんなものか。

ほら、もっと足をあげろ！俺の魔羅がお前の腹を犯しているのをよく見せろ。お前の妹の方でやってもいいんだぞ？

きっ…さま…うあっ…

いい顔をする…。

お前の妹も犯せばそんな顔をするのかね？

妹は…だめ…うっ…

なあ…に、お前が俺のモノを受け入れている間はお前で我慢してやるよ。

どうだ？

もうキツイばかりではないだろう？

少しは気持ちいいんじゃないのか？

ぐっ…

あ…

気持ち悪くて…腹を下しそうだわ…

ぶへへ…頭がイイ子は好きだぞ。

さて…

そろそろ出してやろうか。

よろこべ。お前の様な下賤の娘に、毎度毎度我が一族の種を注いでやっているんだからな

子種などと。面白い事を…

いい返事だ…確かに、俺は種無しだ。だが、そのお陰で、一族の財産を頂く権利を得たと思っている。

種なしの汁だとしても、お前が要らないというなら、お前の妹にくれてやってもいい。

それこそ、毎夜毎晩でもな。

…

どうだ？

欲しくなってきたらろ？

…はやくっ…

出せばいい…私の腹に…残らず出せば…いい…

良い答えだ。



ああっ…ぐああああっ… いっ…いだ…

おっ… よく締まるなあ…

こっちは処女だからな…。 ええ、おい？痛いかな？

お前は痛いかもしれないが、俺はすごく気持ちいいぞ

ひっ…ああ…

いやいや…最近お前をいたぶるのもマンネリ気味だったが

こっちの穴も開発してやろう。

楽しみの幅が増える。

ぐっ…ぐああっ… 痛いですが… ぬい…て…

あ…？ そんなに痛いのか？

じゃあ抜いてやらんこともない。俺は優しいんだ。

でも、代わりにお前の妹の同じ穴に入れてやらなければ気が済まんなあ。

ひいっ…だ…め…っ… ああああっ…

痛いだろ？痛いよなあ？

お前の顔がそれだけ歪むのは久しぶりを見た。

処女を犯してやった時以来か。

そんなに痛い思いを妹にさせるつもりか？

酷い姉だな？

くっ…いもうと…は… だめ…

うむ。 そうだよなあ。

そうに決まってる。

じゃあ、しようがないよな？

初物でぎゅうぎゅう締めしてくれるから、もう出そうだよ。

たっぷり注いでやるからな？ しっかり味わえよ？いいな？

は…い…

ああっ…ぐああああっ… いっ…いだ…

おっ… よく締まるなあ…  
こっちは処女だからな… ええ、おい？痛いかな？

お前は痛いかもしれないが、俺はすごく気持ちいいぞ

ひっ…ああっ…

いやいや…最近お前をいたぶるのもマンネリ気味だったが  
こっちの穴も開発してやろう。  
楽しみの幅が増える。

ぐっ…ぐああっ… 痛い… ぬい…て…

あ…？ そんなに痛いのか？

じゃあ抜いてやらんこともない。俺は優しいんだ。  
でも、代わりにお前の妹の同じ穴に入れてやらなければ気が済まんなあ。

ひいっ…だ…め…っ… ああああっ…

痛いだろ？痛いよなあ？

お前の顔がそれだけ歪むのは久しぶりを見た。

処女を犯してやった時以来か。

そんなに痛い思いを妹にさせるつもりか？

酷い姉だな？

くっ…いもうと…は… だめ…

うむ。 そうだよなあ。

そうに決まってる。

じゃあ、しようがないよなあ？

初物でぎゅうぎゅう締めてくれるから、もう出そうだよ。

たっぷり注いでやるからな？ しっかり味わえよ？いいな？

は…い…

まったく、いつもいつも黙って犯されていればいいものを…

でもまあ、惨めに抵抗してくれるのも楽しいものだがな。

さて、今日はもう帰るよ。お前の妹、俺の可愛い娘が待っているのだから。

お前が耐えてくれたから、  
今日も妹は俺に優しくしてもらえるぞ？

よかったなあ？

は…い…

妹に…優しく…してあげてくださり…

お前どきどきに言われなくとも、私も紳士なんだから。

レディ、ましてや娘の扱いは心得ているつもりだよ。

では、帰るよ。

また週末に来る

…はい… お待ちしております…

お姉ちゃんどうだった？ 元気だった？

おーおー。元気だったよお。やはりお前の姉はお前に似て美しい

もお…お義父さんったらあ

あん…お義父さんのオチン○ンまたおつきくなくなったよお？

私のマ○コ気持ちいいんだ？

ぶひやひや、そりやもう、

お前のマ○コはたまらんぞ？

えへへ…嬉しいなあ…

あと数年したら、

お姉ちゃんも養子にして、

3人で暮らせるんだねえ

お。 たのしみだなあ…

あんっ… もお…

お義父さんもう射精しちやいたいでしょ？

私のマ○コの中でオチン○ンびくびくしてるよ？

じゃあ、今日も中出ししてもらっていい？

私、お義父さんの精液、

どくどくってマ○コに注いでもらったら、

お腹があっただかくなつてすごく気持ちいいんだよ

もちろん。

いくらでも注いでやるぞ。

わ…嬉しいい…

3人になったら、

私にもお姉ちゃんにもいっぱい中出ししてねえ…

あん… 気持ちいい…